

ICTEミニセミナー大阪
(2013.3.31) 講演資料

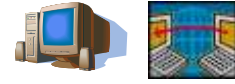
「社会と情報」 こんな授業したいなあ

聖母被昇天学院中学校高等学校
教諭 岡本弘之
okamoto@assumption.ed.jp



最初に・・・

・情報科✕コンピュータ



ではなく・・・

もっと広い科目では？

今日のお話

1.こんな授業やっています

－問題解決の授業実践事例紹介

2.こんなこと考えて授業しています

－情報科の授業で私が大切にしていること

3.こんな授業考えています

－授業アイデアの紹介



授業実践の概要

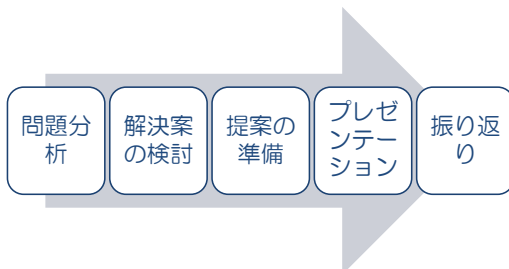
授 業：

- ・高校2年生の情報科（情報C・2単位）の課題として実施（計7時間）

内 容：

- ・学校食堂の現状分析を行い、その改善案を企画し、食堂に対してプレゼンテーションする（問題解決の授業）
- ・4人のグループワークで授業を進める

問題解決の授業の流れ



①課題を発見する (1時間)

<内容>

- ・4人のグループに分ける
- ・KJ法を使って学校食堂のいい所（強み）と課題（弱み）を分析

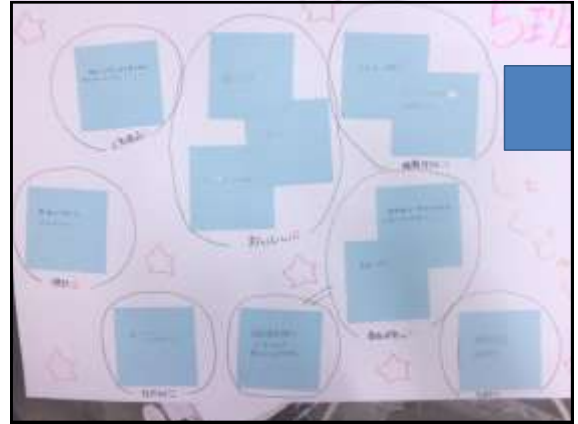
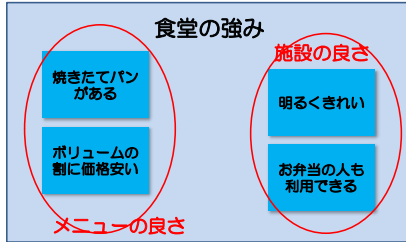


<手順>

個人作業→グループ作業
→全体共有（発表）



資料 作業で使ったスライド



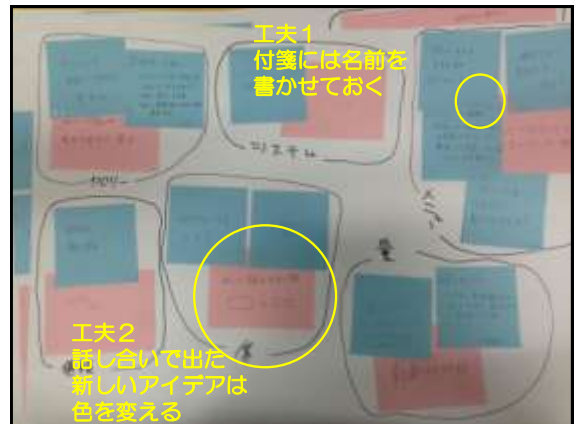
② 解決案を考える (1時間)

- 課題を4つのテーマに絞り、ブレインストーミングで解決案を話し合った

話し合いのルール

- ①判断・結論を出さない(結論厳禁)
自由なアイデア抽出を制限するような、判断・結論は慎む。
- ②粗野な考えを歓迎する(自由奔放)
ユニークで斬新なアイデアを重視する。
- ③量を重視する(質より量)
様々な角度から、多くのアイデアを出す。
- ④アイデアを結合し発展させる(結合改善)
別々のアイデアをくっつけたり一部を変化させたりする

資料 提示スライド「話し合いのルール」



③提案についての情報収集



資料 提示スライド「提案の構成例」

③提案についての情報収集



資料 提示スライド「提案の構成例」

③提案についての情報収集 ～生徒の調査例①

調査例 生徒の現状をアンケートす

こんなメニューがあればいいな...

サラダ	7
サンドウィッチ	7
デザート	5
タピオカ	3
食後の煎	2
焼き肉ランチ	2
シニョールーム	2
和菓子	1
スイーツボート(多量限定)	1

※34 30名調べ

③提案についての情報収集 ～生徒の調査例②

調査例 他の学校の事例を調べる

各校食堂料金の比較

<聖母祐男天字院>	<広島 〇〇高校>
・ 定食 430円	・ 季節セット 390円
・ ラーメン 320円	・ 叉焼焼 380円
・ カレー 330円	・ カレー 290円
・ カツカレー 400円	・ カツカレー 380円

④発表・相互評価 (1時間)

- 1グループ
5分以内での発表
- 相互評価の観点
 - 発表態度(目線など)
 - 内容(ボリューム)
 - 資料のわかりやすさ
 - 説得力



生徒の発表①(2011)



発表例 食堂の歌(B1班)

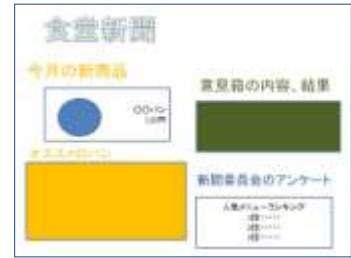
生徒の提案② (2012)

分析
・一般の店はどうしている？
↓
仮説
・ポイントカードを導入すればリピーターが増える
↓
提案
・ポイントカードの発行



生徒の提案③ (2012)

分析
・食堂に足を運んでいない人が多い
↓
仮説
・行ってみたいと思わせれば利用が増える
↓
提案
・食堂新聞を発行し情報を提供する



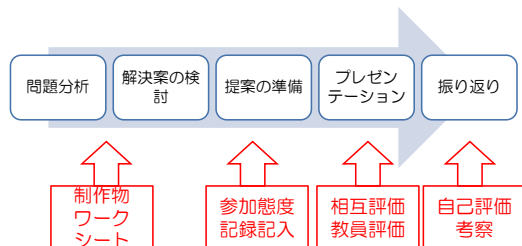
問題解決の授業では

1. グループで考えさせたい
 - ・助け合い・話し合い
 - ・コミュニケーション力育成
2. 方法を教えたい
 - ・KJ法・ブレインストーミング
 - ・教えることで話し合いの質は向上する
3. 実践的なテーマ設定をしたい
 - ・教室を飛び出して提案の効果が見れる課題
 - ・問題解決の視点で物事を見る

今まで考えたテーマ

- ・（新入生が校内で迷っているので）校内の案内表示をどうすればいいか提案する
- ・（中学生でケータイの問題があるので）賢い使い方を中学生にプレゼンしなさい
- ・学校生活を活性化させるための企画（行事）を提案する
- ・（学校食堂の利用が減少しているので）利用者を増やすアイデアを提案する

ちなみに評価は・・・？



今日のお話

1.こんな授業やっています

– 問題解決の授業実践事例紹介

2.こんなこと考えて授業しています

– 情報科の授業で私が大切にしていること

3.こんな授業考えています

– 授業アイデアの紹介



質問？

情報科の授業づくりで大切にしていることは何？

私が

授業づくりで大切にしていること

- 情報科＝コンピュータではない
 - ソフトの操作に偏らない
 - モラル・メディアリテラシーもしっかりと
- 具体から抽象への授業展開
 - 導入で考えさせたり・話し合わせる活動を
 - 実習の中で体験的に理解させたい
 - 最後に知識の整理を（モラル→制作ではなく、制作→モラルもあり？）

実習 授業を考えよう


- 教科書P18～19 ここをどう授業しますか？
- 大まかな授業展開を考えてください
 - こんな話をして、こう展開して、こうまとめる・・・
- グループで
 - 司会者を決めてその人が全員にふってください
 - 当てられたら1分以内でイメージを語ってください
 - 全員が話したらグループで内容をまとめてください
 - 何グループか発表してもらいます（1分以内）

今の実習より

だまって話を聞くよりも・・・

- みんなで話し合い、考えることは楽しい
- 聞くだけではイメージがわからない

ついでに

- 方法・手順を示すと話し合いもスムーズに
- 巡回しながら肯定的な声かけ 

今日のお話

1.こんな授業やっています

– 問題解決の授業実践事例紹介

2.こんなこと考えて授業しています

– 情報科の授業で私が大切にしていること

3.こんな授業考えています

– 授業アイデアの紹介



私の授業実践例の紹介

「社会と情報」の授業で使えるな・・・

- 「情報とメディアの特徴」（第1章1節）
- 「情報の表現と伝達」（第1章2節）
- 「インターネット上のコミュニケーション」（第2章2節）
- 「情報社会と問題解決」（終章）

教科書第1章第1節

1. 情報とメディアの特徴

実習から始めてみては？

作業1

- 今朝から得た情報を書きだしてみよう
- どこから得た情報が信頼性も考えてみよう

得た情報	どこから?	信頼性は?
例) 今日の日曜日の昼の番組は1時	朝のテレビ番組	◎

- 近くの人・発表した人の情報と比べてみよう

<http://www.okamon.jp>

話し合わせてみては？

情報源の信頼性は？		1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組
TV								
ネット								
新聞								
口コミ								

勤務校授業スライドより

導入に工夫しては？

虚構新聞 (<http://kyoko-np.net/>) より

虚構新聞

今日の日曜日はお天気が最高です！

今日の虚構新聞

<http://kyoko-np.net/2005021501.html>

こんな素材も使えるのでは？

「情報の信憑性」の授業で



Fテレビ ニュース (2012年1月) 「警察官の年齢別犯罪者数」より

授業スライドから



日文指導書授業スライドより

教科書第1章2節

2. 情報の表現と伝達

項目を並べると・・・

- 表現と伝達
 - 伝える目的・ターゲットを考える
- 情報の組み立て
 - 企画書を作る
- 情報の統合
 - 表現の方法・工夫
 - 評価と改善

プロジェクト的な実習
の中で学ばせては？

例えば・・・

課題

- 写真と短いキャッチコピーを組み合わせ、メッセージを伝えるポスターを作る
- 条件
 - 何らかのアピール・メッセージを伝える内容
 - 画像を2枚以上使用する
 - キャッチコピー（短い言葉）を入れる

<http://www.okamon.jp>

実習の中で教える・・・

企画書の書き方

- 作品名
 - 作品のタイトル
- ねらい
 - ポスターを見た人に何を伝えたいか？（内容）
 - 誰を想定してのポスターか？（ターゲット）
 - どのような表現・画像で伝えるか？（表現）
- イメージ
 - 簡単な絵コンテを記入

<http://www.okamon.jp>

p.30

文字を使って表現する
色を使って表現する

第1章第2節

- 文字のフォント・大きさ、配色で印象が
違う



日文指導書授業スライドより

p.30

色を使って表現する

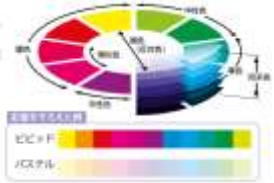
第1章第2節

配色のヒント

色相(赤み)
赤みをもつ色を赤色系、黄緑をもたない白・黄・グレーなどを無彩色という。色相環上で近い色どうしは調和しやすく、離れているとどぎつ、対照をもちやすい。

明度(明るさ)
明度の高い(白)から低い(黒)まで幅広い白・グレー・ブラックを効果的にブルー・グリーンに重畳したときの明るさ。

彩度(鮮やかさ)
鮮やかさと彩度は高い。色相によって彩度は異なる。全体の彩度をそろえると調和した印象になる。



日文指導書授業スライドより

p.31

図や写真を使って表現する

第1章第2節

- 図・写真の効果＝人々を短時間で引きつける



日文指導書授業スライドより

生徒の作品例
(2012年度授業作品)



第2章1節 コミュニケーションとメディア

3. メディアリテラシー

実習をしてから授業したら？

課題

- ・3分程度の動画(ビデオ)を制作する
- ・大テーマは「動画を使った学校紹介」
 - そこから具体的なテーマに絞る
 - 広く学校を紹介する内容であればOK!
 - 取材・レポート・インタビューなど手法も工夫を
- ・デジタルカメラの動画機能を使い、ソフトはムービーメーカーで編集する
- ・グループでテーマを相談して制作する

生徒の作品例



2010年度 生徒作品

作ってみて気付いたことから

映像を作ってみて・・・

- 映像は「切り取られる」「編集されたもの」
 - 映像は一部しか伝えない
 - どの部分を使うかは編集者の意図が働く
- 「やらせ」と「演出」の境界はあいまい
 - 映像のため普段しない行動をさせるのは？
 - 取材で打ち合わせたとおり話してもらおうのは？
- 映像は「イメージ」を作る
 - 映像を見て新たに思った印象・イメージはないか？
 - 映像を使うTVの影響力が大きい！

そこから教科書の内容へ

映像の受け手に必要なこと

- 映像はすべてを伝えないことを知っておく
 - 映っていない部分を考える想像力が必要
- 映像（情報）は送り手の意図のもと編集される
 - メディアは中立ではない
- 映像（情報）は影響力がある
 - 冷静に受け止める力が必要

メディアリテラシー

第2章第2節

4. インターネット上のコミュニケーション

①知識の整理をする (1時間)

<内容>

- Web・ブログ・SNSについて説明、更新の容易さ、双方向性、公開範囲についてワークシートの表でまとめる
- 人気ブログの分析（ターゲット・発信内容の工夫）

＜知識の整理＞			
* 資料を参考にしながら、Web・ブログ・SNSのそれぞれの特徴を記入してください *			
	Web	ブログ	SNS
発信の目的	情報伝達		
発信の手段	△ 知識伝達		
発信方法	○ メールなどによる		
発信特徴			

資料 生徒のワークシート

実際の画面を見せながら・・・

ブログ・SNSの比較

②利点と注意点を整理する (1時間)

- ブログ・SNSでの情報発信について注意点・利点について表と付箋に書かせる

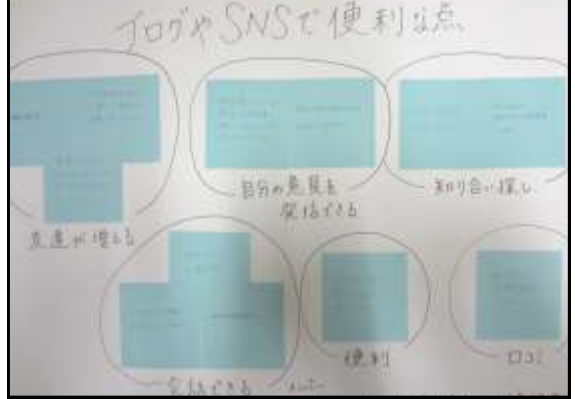
資料 生徒のワークシート

① ブログやSNSで発信する際の個人が理解し得るメリットの整理(ポイント)。
 課題-注意すべき点は列でしようか。自身の経験周りの経験を書けてください。
 手順: ①個人で表を付せんに入紙 → ②グループで共有し、分類・整理しましょう

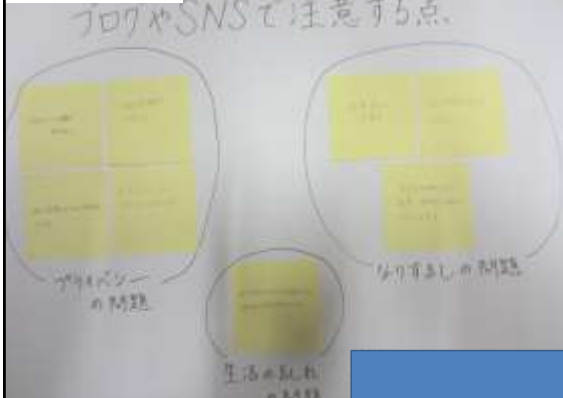
メリット	課題・注意
自分や、周りの投稿	
調べたこと	

工夫 知っていることだけでなく調べたことも書かせる

生徒が作業した画用紙①



生徒が作業した画用紙②



①生徒発表「分析：ブログ・SNSの利点・注意点」

いいところ・長所	注意するところ・課題
<ul style="list-style-type: none"> -個人が投稿発信しやすい -コミュニケーションが図りやすくなる(交流) -情報の収集がしやすい -同じ趣味を持った人とつながりやすい -情報交換が楽しめる(高方向性) -いつでもどこでも発信できる -連絡が取りやすい -交流が楽しい -とまどいが減る -簡単に更新・書き込みができる -自分が思ったことをすぐ書き込める 	<ul style="list-style-type: none"> -知らない人の被害にあうかも -個人情報が知られやすい -ウソの情報も多い -誰に見られているかわからない -人間関係が悪くなることもある -写真付きだと投稿場所が特定される -犯罪に巻き込まれる -登録するときの手間 -参加する人が限られている -危険な人からの連絡の可能性も -依存・被害の危険性 -なりやすしの問題 -他人を傷つけてしまうかもしれない -うそ情報、正しいか分からない -悪口・中傷 -結核病になりがた -著作権の侵害 -個人情報が漏れる -便利される危険性+トラブル -知らない人知り合う危険性 -誰に見られているかわからない -知らない人からの申請
<ul style="list-style-type: none"> -簡単にいつでも書き込める・更新が楽 -コミュニケーション(同じ趣味) -情報交換ができる(高方向) -SNSは友人のみへの情報までできる -いろいろな情報を得ることが出来る -人間形成に便利 -国際交流 -やりとりがスピード -友人とのやり取りが楽しい(様子-レス) 	

③活用を考える (1時間)

- 学校が公式ブログ・SNSサイトを作った場合、何を発信すればいいか話し合う

話し合いのルール

- ①判断・結論を出さない(結論厳禁)
自由なアイデア抽出を制限するような、判断・結論は控む。
- ②粗野な考えを歓迎する(自由奔放)
ユニークで斬新なアイデアを重視する。
- ③量を重視する(質より量)
様々な角度から、多くのアイデアを出す。
- ④アイデアを結合し発展させる(結合改善)
別々のアイデアをくっつけたり一部を変化させたりする

資料 生徒への提示スライド

生徒が作業した画用紙③



生徒発表「活用：学校ブログ・SNSを作ったら」

ターゲット	記事の内容
在校生	<ul style="list-style-type: none"> ・各大学の履修値 ・行事の写真 ・受験した生徒の紹介 ・書籍発売時の案内 ・食堂メニュー
卒業生	<ul style="list-style-type: none"> ・来れる行事の紹介 ・学校や生徒が取り組む活動の紹介 ・同窓会のお知らせ
保護者	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の様子・行事の様子 ・修学旅行の速報
受験希望者	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の魅力・教育方針・雰囲気 ・学校の案内・設備の紹介 ・受験へのアドバイス・勉強法・過去問 ・学校クイズを毎日出題 ・音声付学校紹介（動画）
塾向け	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の方針・カリキュラム
一般向け	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動の紹介 ・主権のコンクールをつくり宣伝 ・地域向け行事を企画し宣伝

ついでに情報モラルも

- ・コピーライトワールド
 - 楽しく学ぼう著作権
(<http://www.kidscric.com/>) [LINK](#)
- ・ネット社会の歩き方
 - (<http://www.cec.or.jp/net-walk/>) [LINK](#)



既存のWebコンテンツを使って学び
話が出た自然な流れで学ばせる

今日のまとめ



情報科で何を教えるか？

コンピュータスキルだけでなく



コミュニケーションスキルも

「社会と情報」

- (1) 情報の活用と表現
- (2) 情報通信ネットワークとコミュニケーション
- (3) 情報社会の課題と情報モラル
- (4) 望ましい情報社会の構築
(学習指導要領「社会と情報」より)

<http://www.meti.go.jp/policy/kisoryoku/about.htm>

今日のお話のまとめ

1. 問題解決の授業では
 - 身近なテーマで話し合う方法も教えましょう
2. 授業を考えるとときは
 - 具体から抽象へ、実習から知識へ
3. こんな授業考えています
 - 授業アイデアの紹介



Web「情報科の授業アイデア」
<http://www.okamon.jp>